

平成28年度第1回朝日町総合教育会議議事録

日 時	平成28年5月25日(水) 16:00～16:55
会 場	朝日町役場 2階 第3会議室
出席者	朝日町長 笹原靖直 教育委員 瓜生紘子(教育長職務代理者)、菅田朗子、氷見雅浩、野田博俊 教育長 永井孝之 事務局 (町長部局) 総務政策課参事・課長 大村 浩、総務管理係長 松田知幸 住民・子ども課長 清水明夫、課長代理・子ども係長 水島兼輔 (教育委員会事務局) 参事・事務局長 小杉嘉博、局長代理・学校教育係長 住吉嘉人、 スポーツ係長 山田園美、生涯学習係長 萩原めぐみ
傍聴者	なし
会議次第	1 開 会 2 町長あいさつ 3 協議・調整・報告事項 (1) 朝日町総合教育会議設置要綱の改正について (2) 朝日町の教育に関する大綱(案)について (3) その他 4 閉 会
開 会	16:00
参事・事務局長	それでは、ご案内の時間になりましたので、只今より、平成28年度第1回の朝日町総合教育会議を始めさせていただきます。まず初めに町長がご挨拶を申し上げます。
町 長	あらためまして、こんにちは。会議の後ですが、引き続きよろしく申し上げます。今日から2年越しでやります、東大阪の小阪中学校の受け入れ183名の方々がこられて民泊をされるわけでありますが、そういったことも教育委員会として、地元の子どもたちにも触れ合う機会がありながら、有意義なものになればいいかなと思っております。そういった中で、忌憚のないご意見を聞かせていただければと思っております。よろしくお願いいたします。本日は平成28年度の第1回、そして、平成27年度の先般3月23日に第1回総合教育会議を開かせていただきました。その際、地方公共団体に課されております教育・学術及び文化の振興に関する総合的な計画の大綱、

いわゆる教育大綱（案）を提案させていただき、委員の皆様からいろんなご意見を伺っていたところであります。本日は、前回の総合教育会議で提案させていただきました教育大綱（案）について、委員の皆様から賜りましたご意見を踏まえて、修正したものを改めて、今、提案させていただいております。委員の皆様には繰り返しのようになりますが、再度、内容を協議いただきまして、今回の会議をもって、教育大綱（案）のご承認をいただければというふうに考えておりますので、委員の皆様方には、ご理解、そしてご提言をいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

参事・事務局長

ありがとうございました。それでは協議に入るわけですが、協議に入ります前に、この平成28年4月1日付けで人事異動がございまして、3月23日の第1回会議より事務局職員等が変更になっておりますので、ご紹介をさせていただきたいと思っております。まず、私、この4月1日より教育委員会事務局に参事・事務局長として参りました小杉と申します。よろしくお願いいたします。あと、町長部局の方で、こちらにおりますのが、大村参事・総務政策課長でございます。

参事・総務政策課長

大村です。よろしくお願いいたします。

参事・事務局長

それと、私の隣りが、清水住民・子ども課長でございます。

住民・子ども課長

清水です。よろしくお願いいたします。

参事・事務局長

以上が、今回等で入れかわりました人事でございますので、よろしくお願いいたします。それでは、次第の3番目の協議、調整、報告事項に移っていくわけですが、会議の進行につきましては、総合教育会議設置要綱第4条第3項の規定によりまして、笹原町長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

町長

それでは、引き続き進めさせていただきたいと思っております。今ほど事務局から人事の関係で、参事制という制度を設けまして、大村参事、小杉参事には、担当業務以外に町全般における、職員の指導、あるいは、町づくりに関して、総合的なそういった立場というものも考慮して、改めて、分掌させていただきました。そういった町の体制も少しずつではありますが、動きやすい形ということを目指してやったということだけは申し述べておきたいと思っております。それでは、次第の3番、協議、調整、報告事項について、まず、1番の朝日町総合教育会議設置要綱の改正について事務局の方から説明をお願いいたします。

局長代理

教育委員会事務局の住吉です。失礼ですが座って説明をさせていただきます。説明に入る前に資料の確認をさせていただきたいと思っております。お手元の方に会議の次第と本日の席次表、資料1で朝日町総合教育会議設置要綱、これに係る新旧対照表、資料2で朝日町教育大綱（案）、これに係る教育大綱の前回提案したものからの改正案の比較表がついております。それと、後ほど、その他の方で少しお話があると思っておりますが、平成28年度朝日町学校教育の方針ということで、資料を配付させていただいております。それでは、協議・調整・報告事項として、朝日町総合教育会議設置要綱の改正について、資料1に基づいて、説明をさせていただきたいと思っております。総合教育会議の設置要綱につきましては、先般、3月23日に委員の皆様にご承認をいただいて、3月23日付けで要綱の施行をさせていただいておりますが、その後、今、小杉

局長の方からお話がありましたとおり、4月1日付けの役場組織の特に課名の改称がありましたので、今回、その設置要綱に出てきます、課の名称を変更させていただいたということで報告をさせていただきたいものであります。資料の2ページの方に第10条で事務局及び庶務という項目があります。その中で、会議の事務局は総務政策課ということで、前回提案した時には、総務課ということになっておりましたが、課名の改称によりまして、総務政策課に改めたいということであります。改めた要綱の施行日を平成28年4月1日から施行するということで、報告をさせていただきたいと思っております。次のページについているのは、今ほど説明したものの新旧の対照表になります。以上です。

町長 只今の事務局から説明のありました件に関しては、報告ではありますが、ご質問、ご意見を伺いたいと思っております。無いようでしたら、それでは、引き続きではありますが、2番目の朝日町の教育に関する大綱（案）について、事務局からお願いします。

局長代理 では、資料2、朝日町教育大綱（案）についてであります。前回提案させていただいたものから、当日、委員の皆さんからいただいた意見も踏まえながら、大綱の文言の方を少し整理をさせていただきました。読み上げて、説明に代えさせていただきます。まず、大綱のはじめにというところで、教育大綱は地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、朝日町、前は町ということになっておりましたが、朝日町というふうに修正をさせていただいております。朝日町の教育学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるもので、当町では、第5次朝日町総合計画、前は単に総合計画となっておりますが、第5次朝日町という文言を追加しています。平成28年度から平成37年度に定める教育分野の基本目標ということで、こちらの方も追加させていただいております。重点施策、こちらの方も毎年度策定ということで、前は年度毎になっておりましたが、毎年度に改めさせていただいております。これらはその、中間に位置づけられるものです。で、2番の方で、教育大綱の期間ということです。平成28年度から平成32年度までの5年間を教育大綱の対象期間とします。なお、教育を取り巻く環境の変化に対応するため、対象期間中においても、という言葉の追加をさせていただいております。必要な見直しを随時行っていきます。この、随時も追加させていただいております。3番の基本理念の方では、柱書きとして、朝日町民憲章の精神の下、先人が育てきたふるさと朝日町の更なる発展に向け、朝日町の、を加えまして、人、自然文化を愛し、心豊かでたくましく生涯を通して学ぶ人づくりを目指します、ということにしております。4番の基本方針では、柱書きとして、基本理念を達成するために、次の3点から人づくりを推進します、という言葉を追加しております。1つ目がふるさと朝日町に自信と誇りを持ち、社会の発展に貢献できる人づくりを推進します。2つ目、時代の変化にしなやかに対応し、円滑な人間関係を基盤に生き抜ける人づくりを推進します。3番目に、健康で生涯に渡って学び、その知識や体験を生かし活用できる人づくりを推進します。5番の重点目標です。柱書きとして、基本方針に基づき、次の5分野を重点目標に掲げ、その実現に努めますという、文言を入れております。重点

目標の項目のうち、家庭・地域教育、前は家庭教育となっておりますが、家庭・地域教育ということで、地域という言葉を追加しております。全町民による、学校家庭地域の連携を図り、互いの教育力を高める体制づくりに努めます。で、その下に、毎年教育委員会の方では、重点施策というものを作成しておりますが、その重点施策の中の施策の項目を、各重点目標の中に追記しております。1つは家庭地域教育の推進、2つ目に地域活動への参加の促進です。次に、学校教育です。豊かな心と健康な身体の育成を図り、基礎学力の向上と多くの体験を実生活の中で活かす能力の育成に努めます。で、こちらの方も、重点施策の施策項目を入れております。1つは教育環境の整備、2つ目は教育内容の充実です。生涯学習の方では、向上心を持って生涯に渡り学び、自らを高めようとする人づくりに努めます。で、施策の項目として、生涯学習の推進、家庭青少年教育の充実、男女共同参画社会の促進を加えております。スポーツでは、スポーツに親しみ健康寿命の延伸や競技力の向上に努めます。で、重点施策の項目として、生涯スポーツ社会の実現、スポーツの技術的水準の向上、スポーツ環境の整備の3項目を追加しております。文化の方では、町の自然や文化伝統に親しみ、保存と発展継承に寄与する人づくりに努めます。で、重点施策の項目、1つは、芸術文化施設の活用と充実、芸術文化活動の促進、文化の保護と活用の3項目を追加しております。6番の推進体制では、教育大綱の推進に向け、町長と教育委員会が、緊密に連携を図りながら、一丸となって、教育行政を推進していきます。また、教育の推進、中でも人づくりには町民一人一人の自主的主体的な取り組みだけでなく、人づくりの主体となる、家庭や学校、地域、ここで、前回、瓜生委員から女性の働く環境、企業などの支援も必要でないかということで、企業という言葉を追加させていただいております、企業などによる連携、協力体制を充実することが必要不可欠であることから、引き続き関係者のご協力をいただきながら、オール朝日町による人づくりを推進していきます。こういう形で、大綱（案）の方をまとめさせていただきました。以上です。

町長 はい、只今、事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見等伺わせていただければと思います。住吉局長代理から説明があったとおり、瓜生委員や菅田委員、氷見委員や野田委員からございました、伝統文化あるいは、働きやすい女性の環境づくり、食の文化、そういった中では、前回の皆様方のご提言を踏まえて、今回、しっかりと織り込んでいったのではないかなと思います。そういった事の中で、この資料について、ご意見等伺わせていただければというふうに思っております。どなたからでもよろしくお願ひします。

瓜生委員 本当に、素晴らしい大綱（案）が示されたなと思っっているんです。なかでも、生涯を通して学ぶということ、それから、全町民がこの教育大綱を守り育てていくという、そういう主役なんだということが、大綱から滲み出ているなと感じました。ありがとうございました。

町長 瓜生さんからお褒めの言葉をいただきありがとうございます。その他委員の皆様からも、かなり、前回の皆さんの貴重なご意見が文言に盛り込まれているかなというこ

とではありますけども、どうでしょう。こういう形で進ませていただければと思っ
ていますが。文言にこだわりがあって、何か付け加えるものがあれば。どうでしょう、
概ねこういう形でよろしいでしょうかね。

(はい：同意の声)

町 長 それでは、そういった形で進めさせていただいたと思うので、承認したいと思いま
すので、ご異議ございませんでしょうかね。

(はい：同意の声)

町 長 ありがとうございます。それでは、折角の機会でありますので、情報交換をしてい
ただきたいと思います。最初に、小中学校の教育方針について、永井教育長からお話
をさせていただきたいと思います。何れにしろ、大綱を作ることが目的ではございま
せんので、皆様からいただいた貴重な意見をいかに実行していくかということが、大
事ではないかなと思っています。そういう事で情報交換の中で、まず教育長の方から
熱い思いを、子どもに対する期待を聞かせてもらいたいと思います。お願いします。

教育長 それでは、町長からのご指名でありますので、本当は、総合教育会議というのは、
広い視野で、生涯学習という観点で子育てから一生終わるまでの学びということでお
話しするべきなんでしょうけど、私の方からは、学校教育に特化をして、今やっている
事についてお話したいと思います。今はもう5月に入っておりますけども、町内の
小中学校は4月1日から、平成28年度は新しい体制でスタートして2ヵ月が経って
いるわけです。学校教育が歩んでいる今年度の方向性については、中々皆さん方にお
話することが無かったので、この機会を捉えて、今、学校はこういう方向に向かって
いるよという、こういう手順で進んでいるということを少しお話したいと思います。
まずはじめに、学校は毎年どの様な基準で、手順で運営されているのか、経営されて
いるのかということについて、どういう仕組みになっているか、それに町の教育委員
会が一体どう関わっているのか、ということについて、意外と知られていませんので、
後に、資料を付けていますので、それも含めながら説明をしたいなというふうに思
います。後に付けました資料をちょっと見ていただければ、平成28年度朝日町学校教
育の方針という題がついておりますけど、これは何かといいますと、毎年度4月1日
に町内の各小中学校の校長、教頭、町教育センター指導主事を集めて、その年度の朝
日町の学校教育の方針として、学校教育の1年の方向性に関して、管理職の意思統一
を図るために、私が作って説明をしているものであります。では、この朝日町学校教
育の方針というのが、どの様にして作られているのかといいますと、今年度のもの
については、昨年度末に教育大綱の案ができておりますので、これはまだ、案の段階だ
ったのですが、これをベースにおいて、毎年度教育委員会では、朝日町教育委員
会重点施策というものを作っています。これにですね、子どもたちの現在の実態、朝
日町の願っている事、保護者の願いとしている事、あるいは、地域の実情などを把握
しまして、それに私の教育観というものを加えながら、前年度末に作成し、4月1日
に組織校長会に言っているのですが、そこで、私の方から意思統一を図るために、指
示をしたり、示したりしているものがそこに付けた資料であります。これを出してい

るのは、町立の小中学校でありますので、町の施策への校長管理職の理解、あるいは、町民の願いに対する管理職との共通理解、学校の1年の方向性をしっかり定めたいという思いで、私の方から話をさせていただいております。これを受けて、各学校の校長は、自ら教育大綱とか、教育委員会の重点施策を念頭に法律とか規則とか、更に1番大切な校長自らの教育理念、あるいは使命感とか責任感などを基にして、学校ごとに経営方針を作って、校内の組織を整えて、先生方との共通理解を図って、学校教育の目標を作って、1年間それぞれの学校が独自の歩みをしている。ただども、町としては、統一感を持った学校教育を進めるということが、現在のところは可能になっているのかなというふうに思っています。今年度の朝日町の学校教育の方針については、年度によっては細かく、本当に箸の上げ下ろしまで指示をしたことがあるんですが、今の校長の資質をみてみますと、力量も十分整っておりますし、周りの状況も把握できるような校長達がそろっていますので、学校長の裁量に多くを委ねながら、町の統一性さえ崩れなければ、とにかく子どもを育てることに重点を置いて力一杯やってくれというふうなお願いをしているところであります。そこで、これだけの話をしまして、資料の平成28年度朝日町学校教育の方針の資料についてですね、これはいちいち言ってもしょうがないので、簡単に話をしたいと思います。まず、1番の(1)であります、これは4月1日に各校長、教頭に指示をした要旨であります、1番の(1)において、まず法律の改正によって教育委員会制度が新しくなった。総合教育会議というものを、町長を含めながら開くことになりましたよということと、教育大綱というものを、今までの重点施策の上に設置をする必要が出てきたんだという事の説明を校長達にいたしました。次に1の(2)では、何を言っているかと言いますと、朝日町の行政の方向性について、校長、教頭に共通理解を求めました。現在、朝日町は、校長達は知っていましたが、子育て応援日本一の町を目指している、そのために、町の皆さんのおかげで、例えば、具体的に言いますと、全小中学校に空調施設が入ると、1年間で全部入れる。これは非常に画期的なことであります。また、中学生の武道の指導のために、格技指導のために武道館を建設する。あるいは、さみさと小学校の大規模改修も視野に入れている。新しい事で言うと、養護教諭が出張でおられない時は、臨時の養護教諭を配置する、あるいは、スタディ・メイトを学校訪問でも校長から話がありましたけれども増員をしている。中学校の朝日岳登山については、補助を出すというふうに、非常に町とすれば前向きな、しかも、お金をかけた予算を投入した学校教育への支援をいただいているのだと。それはやはり、朝日町ならではのものであって、感謝しなければならないと。そこで、じゃあ、学校として、それをどう受け止め答えていくべきなのか、やはり、学校のやることは、お金は出せないで、教育の質で答えざるを得ないということで、校長、教頭には、学校教育の質的向上をしっかりとやってくれというふうにお願いをしました。それは、どのようにして高められるかということ、教員としての洗練、自分は子どもを指導するという自覚、やっぱり、その気持ちを自負心を持って、自分を高めようという人間性として、教員としての質的な向上を計ろうと自らする先生を育てて欲しいと。それが、教育の質の

向上につながるんだよという話をして、学校で力一杯、先生方と関わって下さいというお願いをしました。続いて(3)は、読んでいただければと思いますので、省略いたします。その教員の質的向上を念頭に置いて、今年度は、平成28年度はですね、是非、先生方に次の3つの事を目指すように働きかけてくださいと話しました。まず1つ目は、教育への熱意と高い授業力。授業がやはり質的に良くないと子どもは伸びないので、その力量を高めて欲しいというのが1つ目です。2つ目は、先生方というのは視野の狭い所があるので、児童生徒や家庭地域住民との信頼関係を築くことができるコミュニケーション能力を高めて欲しい。やっぱり、先生はどうしても子どもの方に目が行きやすく、周りの大人たちに目が向かないところがあります。ところが周りの人たちの応援があつてこそ、初めて学校教育が推進できるのであって、その自覚が高まらないかなというふうな願いがありました。3つ目は、先生も人間でありますし、子どもも人間であります。先生は、子どもに対していろんなことを教えるんですけども、上から目線でなくて、子どもは必ず先生を超えていくので、超えていく子どもに対して、上から目線の指導では立ち行かないので、先生も人間、あなたも人間、だから一緒に高まろうよというそういう根本的なスタンスを持って欲しいなというふうにお願いをしました。指導者によって子どもは変わるし、指導者が変われば子どもは確実に変わっていくということを信念にして、学校運営を進めて欲しいというお願いをしているところであります。そこで、今年度の朝日町の学校教育の目標は、そこに掲げた通りであります。朝日町(人・自然・文化)を愛する心豊かでたくましい子どもを育てる。学校教育の質的向上と保護者、地域との密接な関係を通して、それに加えて、町民みんなで、力を合わせて、子どもたちを育てる。ここにオール朝日町という言葉を入れさせていただきました。今や、この目標を掲げたのは、学校だけでは子どもは育ちません。こういう考え方の下に、家庭と地域と学校の三者が町をあげて、皆が同じ願いを持って子育てにあたる、学校が確実に子どもを成長させることによって、町民の皆さんの学校への信頼を得るということを前提に、そして、オール朝日町で子どもを見ていきましょうよ。そういう学校環境を築きたい。というのが、今年度の願いになっております。この達成の為にですね、具体的な3つの付属点をあげました。1つ目は(3)になりますが、子どもたちの成長を町民の学校教育の信頼につなげ、みんな子どもを育てる教育環境づくりに努めるというのが1点目です。2つ目はO J P、O J Pというのは、職員室で教育の話をする事です。子どもの話をする事で、年配の先生から若い先生へテクニックを、若い先生から年配の先生へ情熱を伝えることによって、使命感や高い指導力を持った教員を育てたいというのがO J Pの目標になってます。これをやって下さいと話しました。3つ目は児童生徒のみならず、人づくりの向上心を高めて、豊かな人間を育てるという教員の価値観を築いてほしい。それがないと、学校教育は立ち行かないのかなというふうに思います。あと、最後に細かくなりますが、以前はこのことを非常に細かく話してきたんですが、(4)重点の方針として、まず子どもの安全、命、これを守る。勉強の面では基礎学力を定着させて、その活用力を高めること、生徒指導では、児童生徒から保護者の

皆さん、地域の皆さんと信頼関係を築くこと。道徳教育は、道徳の時間をしっかりとやりなさい。特別支援については、これは今最近非常に注目されているので、先生方の教育課程の中では勉強が入っていなかったもので、大学では勉強していないので、今からでもいいですから、しっかりと勉強して下さい。という話をしました。最後に今後のお願いとして、特に、1番と2番なんですけど、町や地域の事業に学校として積極的に参加をして下さい。委員会と密接な連携を図って下さいということをお願いして、4月1日の組織校長会を終わりました。これを受けてですね、私らは教育委員会と校長会とは、毎月初めに校長会をやっているもので、これに不足した分、現実の部分を見ながら、その都度指示をして、町教育委員会の意思とか、町の願いとかを学校に伝えながら、町全体で子どもを育てていきたいという方向で今年度スタートをして2カ月が経ったという状況をお話したいなということでもあります。私の方からは以上です。

町長 ありがとうございます。一番大事な事なのかなと思っております。教育長の説明に加えて、折角ですので、日頃思っておられることを、あるいは些細なことでもかまいませんので、何かご意見あればと思っておりますので、何方からでもよろしくお願い致します。

菅田委員 教育への熱意と高い能力という、先生に対しての希望が、井の中の蛙、職場への教育も大切なんですけども、もっと外に目を向けて、向上心とかそういうものを育てて行くためになにか考えておられますか。

教育長 今ですね、先生方、自分のクラスの中にどうしてもコントロールしきれない子どもさんが非常に増えてきた。自分が授業をする時に、授業をするものとして困る。今、みんなでやろうとしたのに勝手なことをするものだから、この子どもをどちらに向けさせるかということに対して、先生方は非常に悩んでおられる。たぶん、どの先生もみんな。多分、今までの学校教育の中で、これだけ先生の人数が高まった研修内容はなかったように思う。そういうことから朝日町教育センターでも研修のパターンを組んで、県の教育長会議でも県の方に研修を組めという事を言っている。特別支援を要する子どもたちに対する研修をすることによって、この子ども1人だけ特別支援を要するだけ、よく見たら40人いたら、40人全部が特別支援を要するんですね、個別的には。だから、そういう視野に広げるような研修をしながら、実際に実践をして、失敗をして、高まって行って欲しいなど。それが1番先生のニーズに合っているのかなという気がするもので、そういう研修を町の方でも仕組むし、県の方でも仕組む方向に向かっている。是非やっていただこうかなと思っています。

菅田委員 県外とか、そういう教育校みたいなどで、研修とかはあるんですね。

教育長 そのことについては、町の方からも小中学校から必ず1人、内地留学に大体3ヶ月間、県外に出す。あるいは、県内とか、富大とか総合教育センターに必ず毎年1人ずつ出すということもありますし、東部教育事務所が県の予算を使って、中央本部、筑波大学とか中央研修に県で研修をさせる枠を持っている。それを市町村に配分すると、朝日町の場合は学校が3つしかないもので、当る確率が非常に高いということで、

今年も中央に一人行っていきますけども、行ってる最中に、県の方から、海外研修に行かしてもらえないかという話が来たりして、非常に朝日町の先生方としたら、研修のチャンスに恵まれているかなど。人数が少ないからかもしれないですけど。それは感謝していいなと私は思っています。

菅田委員

やはり、そういう場合に行きやすい環境というか、学習はしたいものの、学校の事を考えると、中々出にくかったりするんで、そこら辺の体制をきちんとして欲しい。

教育長

ありますね。

菅田委員

熱心な先生ほど、たぶん、責任を感じられると思うので。

教育長

学校の立場もあるし、家庭の状況もありますし。様々な状況を加味しながら、校長の所に相談をしながら出しているのですが、毎年行っていただいているというのは10年で10人行かされますからね。朝日町の中での内地留学だけでも。これは大変な話なんで、先生方、たぶん90人弱しかおられない中で、10年で10人だと、県からも行かせてもらえるとなると、大体、みんな1回は最近行って来たなというレベルには到達できるなと思っているので、恵まれているなと思っています。

町長

今、教育長が話されましたが、その他にいろんなことを、こういった場でありまして、意見交換を続けたいと思っていますので、また違う面からでもご意見があれば聞かせていただければと思っています。教育長が今言われました、職員に対しての研修の中身、やはり地域住民との信頼関係を築くことができるコミュニケーション能力、これを身に着けなければ、これは先生のみならず、町の職員もしかり、いろんなところに当てはまっていくんだなと。やはり好むと好まざるとを別として、1つのコミュニケーション、そして、そういった信頼関係を構築するためのコミュニケーション能力は非常に問われるんだろうなということが、この部分を改めて感じているところであります。そういった中では、教育長自身が教育に一生懸命取り組んでいるなというのは、私も嬉しく思っています。先般、皆様方との懇親会の時に嬉しかったのはPTAのある方からメールがきて、中学校の授業参観等参加して、朝日中学校の校長をはじめ本当に一生懸命やってくれる、頼もしいなというメールが来たというのは、やはりそれは、永井教育長を筆頭に教職員が一生懸命やっているなということが私も非常に嬉しく思っていることです。教育というのはやはり、一朝一夕にはいきませんので、積み重ねがあってはじめて、朝日町の子どもたちがやはり、将来、目を向けてくれるんだろうなというふうに思っていることを感じている。そういったことを踏まえながら、まだあれば聞かせてやってください。あとは町としましての、私の方からですが、ご存知のように、第5次朝日町総合計画が10年のスパンのなかで、今年度スタートしたのは事実であります。やはり夢と希望のもてる町づくり、町民が一番望んでいるのは、町政の私の、町の舵取りからしても、常々思うのは、どうしても人間好き嫌いがある、でもそういったことを別にして本当に同じ目的に向ってやらないとダメなんだろうなということは感じているところであります。とかく、人の噂で話が進むことがあるのですが、やはり事実に基づいて話をする、伝えていくということが、1番どんな部分でも大事なんだろうなと思っています。そういった中では、

今、少しずつではありますが、町も変わりつつあるし、逆に変わらなくちゃ終わってしまうんだという危機感のなかでは、今、町の職員も一生懸命やっていると私は思っています。また、そういった意味で、違う立場からでも委員の皆さんには、朝日町の職員は一生懸命やっていると褒めることもまた、職員や私たちもまたがんばれるのかなと思っていますので、また、いろんな場でそういった情報発信をしていただければというふうに思っているわけで、また、そういった意味ではよろしく願いいたします。また、こういった機会があるごとに、町の様々な情報提供というものも、お伝えしていきたいと思っています。折角ですので、また、いろんな立場の中で何かあれば、また聞かせていただければと思いますが。よろしいでしょうか。

瓜生委員 折角ですから、町長さんをお願いなのですがよろしいですか。今度、武道館が作られるということで、予算がからむことで、あんまり言えないのですが、できたら公式の試合が観戦できる位の施設になればいいなと思っております。

町 長 それは、小杉参事や各部門の皆さんにお願いをしながら、今、情報収集をしながらやっているところでありますが、基本的に今、ピロティにこだわった部分があるのですが、これから煮詰めていかなくてはならないのですが、基本的には、室内の競技場があればいいのかなと、コストの問題から付加価値の問題からトータル的に考えながら、場所はスペースはありますので、そこら辺りをより良いものに、やっぱりコストも考えていかなければならないので、どんな仕上がりになるのか。当然、災害が起きたときの避難場所の要素も含んだもので多目的にも使いたいということも、先般、小杉参事や大村参事ともお話して、三役会議でも協議し、課長の方々も公共施設のあり方でいろんなところに研修をいっていますし、また議会の方も課長といろんな所に視察に行きながら施設のあり方ということに関しても、やっておりますし、やはりニーズにしっかりと、基本的に予算というのは必要なものに関しては投資をしよう。ただ、限られた予算の中では、我慢をしなくてはならないものは我慢をしなければならぬのかな、というふうに理解せざるをえないと思っている。皆さん方のニーズに答える、そしてまた悔いを残したものではいけないなと、そのあたりは十二分に分かっている事なので、そういった計画の中でまた、気になることがあれば聞かせていただければというのが現状であります。

菅田委員 先程、教育長が言われた特別支援、そういうことを親が気が付いた時に一番傷ついているというか、良く分かっているというか、そういうことは親だと思うのですね。そこら辺はやはり、コミュニケーションを密にして、親も含めて、温かく見守って欲しいなと。

教育長 そうなったらもう、先生の人間性なんですよね、たぶん、子どもさんがちょっと、あれ、うちの子ちょっと他の子と違うなと気づかれたお父さんお母さんは、ものすごく勉強されるから、この子いったいどうなっているのか、どうしたらいいのかという、ところが、先生の方は割とうっかり思っていて、ちょっと困ったなというくらいしか思っていてなくて、その二人が話をすると噛み合わないんですね。それでその信頼関係が崩れていく、ということがあります。やはり、こちらもそれなりの勉強をしていて、

お母さんの気持ちが分かっている、共通の話が出来るというレベルまで高まっていないと崩れていってしまう。だから、研修するという事はすごく大事だなと思っている。

町 長

担当の方から、大村参事、清水課長の方から何かありませんか。違う角度からの意見もと思いますが、どうですか。せっかくですから、立場立場で。

住民・子ども課長

多分前回の時に、今、小学校、中学校という形の中で住民・子ども課の取組みということで、居場所づくりとか児童館、それから、放課後子ども教室、放課後児童クラブのご説明を申し上げていたというふうに思っております。そうした中で、こちらの方で述べさせていただくと、どうしても学童から中学生までにかけてのところに、これが一番大切なところ、人をつくっていくところって大切なところなんです。うちの方は保育所から小学校へ上がるときの、そのつなぎをうまくやっていきたいなというふうに思っておりますので、また、よろしく願いいたします。

町 長

先般、私の方から情報の提供という中で昨日も実は文化体育振興公社の提案をいただきまして、芸能文化部門でふるさと美術館をよりよいものに活用できないかということで、展示が貴重であるいろんなものを活用しながらできないものかと、夢二の常設展示ということも含めながら、あるいは、パークゴルフも管轄になりながら、オートキャンプ場の活用も受けたり、普段から良いものを見る、書道家や文化的な有名な方、版画や絵画の方もいますので、普段からそういった所にも、やはりいい物を見る、いい物を食べる、いい人と触れ合うというのはやっぱり、それは教育に大事な事なんだろうなというふうには思っております。そういった観点からも、そういった見直し、そしてやれることをやって行こうということで、昨日もお願いしたところでありますし、あるいはあるものをおおいに活かして行くということも大事なんだろうなと思っております。そういった取組みも次年度からも芸術のものに関しても取組んでいきたいなというふうに思っていますし、スポーツ関係で言いますと、急遽7月の翡翠カップにおける大学生の大会ということで、各課の協力をいただきながら、昭和女子大学の招致、20人来るといってお話も聞いていますが、先般日本ビーチボール協会の総会が東京であったんですが、そういった方をお願いしたりしながら、冒頭の挨拶にもしましたけど、中学生の民泊の受け入れ、そういった様々な方と色々な方と触れ合い、そしてまた、そういった交流を深めることによって、世代間あるいは、職種間、あるいは大学を超えた交流というものも大事なんではないかなと。お互いどうしても、外部の方の知恵を仰ぎながら交流するというのも大事なんだろうなというふうに思っています。そういった中では、できる事は何でもやって行こうという、本当に形にはこだわらずという気持ちで、人材の育成ということでは来月の6月26日には城西大学の伊関先生、病院の検討委員会の委員でもある方、あの方のマネジメント力、人、人材を作っていく人達に、非常に勉強になるのかなと思っておりますので、6月26日（日）3時から是非そういった講演も聞いていただければありがたいかなと思っておりますし、やはり、職場も学校関係も職員も人材次第なんだろうなと、教育部門に関しては永井教育長を筆頭にしっかりやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。それでは、本日の会議は、すべて終了させていただきます。あ

参事・事務局長

りがとうございました。事務局にお渡しします。

町長には会議のスムーズな進行ありがとうございました。また、教育委員の皆さまには慎重審議ならびに貴重なご意見たくさんいただきまして、ありがとうございました。それでは、閉会にあたりまして、永井教育長の方から皆様にご挨拶を申し上げます。

教 育 長

本日は、蒸し暑い中、平成28年度第1回朝日町総合教育会議にご参加いただき貴重な意見をいただいたことに感謝申しあげたいと思います。また、先程は、朝日町教育大綱のご承認をいただいたことに重ねてお礼を申し上げたいなというふうに思います。この教育大綱というものをですね、もう作り上げた市町村のものを見てみますと、非常に細かなものを入れて、膨大な量になっているものもありますし、こんなに簡単でいいのかというものもありまして様々であります。ただ、朝日町の場合は、毎年、先程でできました朝日町の重点施策というものを、庁舎の各課を横断的にアイデアをいただきながら子どもが生まれてから、学校教育、そして社会教育、生涯学習に至るまで、生れてから死ぬまでの教育についてですね、検討した成案を持っておりますので、その上に大綱ということでもありますので、それらの柱を築けたものかなというふうに思っております。ただこれはですね、大綱の中にもありましたけれども、永久に変わらないものではなくて、期間の中でも随時変更していてもいいということになっております。ここにお集まりの皆さんが、この後、町の進む方向とか、学校がやっていることとか子どもの成長の度合いを見ながら、客観的にご意見をこの後もいただければこの大綱の変更にも、より有意義になるし、朝日町の教育の推進に大きな力になるのではないかというふうに思っています。今後ともよろしくお願ひしたいということをお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

参事・事務局長

ありがとうございました。次回の会議につきましては、来年度、平成29年度の予算編成前の11月上旬頃を予定したいと思いますので、また、時期が来ましたら、皆様方に日程調整をさせていただきながら、改めてご案内申し上げたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。それでは以上をもちまして、平成28年度の第1回朝日町総合教育会議を閉会とさせていただきます。本日はどうも有難うございました。

閉 会

16 : 55